

答 地域強靱化計画策定後、防災体制の機能を確認し、その中で拠点として望ましい場所の要件について整理していく。

日恵野佳代 (無党派・日本共産党)

コロナ禍で市民の暮らしを支援するために

問 新型コロナウイルス感染症対策として、市内旅館・ホテル利用券等が65歳以上に配布された。ホテル等の経営者からはまたやっつけほしいという声がある。継続を検討してはどうか。

答 旅館、ホテルの経営者との懇談では、改めて検討すると答えている。

公共施設の統廃合の考えを改めるべき

問 公共施設の統廃合によって、保育園、小中学校、公民館も減っていく。歩いていけること、また、避難所感染対策で密にならないことも大事である。小規模・分散型の避難所を確保するべきと考える。市の

対策を伺う。

答 防災体制の機能を確認した上で、避難所の確保の考え方についても検討したい。

藤田裕喜 (市政クラブ)

スマホ等のデジタル機器と子育てをめぐって

問 乳幼児がスマホ等に触れることについて、どのような健康上のリスクがあるか。

答 使い方によって視力低下や視力障害、愛着不足や言葉の遅れ、情緒不安定、スマホ依存等、健康や発達への影響が考えられる。

問 市の子育て教室では、スマホと子育てに関する情報提供等を行っているか。

答 1歳児教室ではリーフレットにてスマホ等のメディアの注意喚起を行い、2歳児教室では親子遊びの大切さを伝えている。

問 市のホームページに、スマホと子育てをめぐる問題について、保護者向けの情報提供や注意喚起の記事を掲載しては。

答 今後は、スマホ等が与える健康への影響や使い方、親子の触れ合いの大切さ等をホームページにおいても伝えていきたい。

大須賀林 (自民党市議団)

水道事業について

問 今後の水道管路の老朽化対策と耐震化に対する市の方針について伺う。

答 各計画に基づき、毎年度、管路更新事業を実施している。新しく布設する水道管は耐震管を採用し、老朽化対策と耐震化を同時に進めている。

問 電気自動車の市民への啓発、普及を図るには、市が率先して電気自動車等を導入し、市民に対して普及促進を図りたい。

答 充電施設の設置も進めるべきと考えるが、市役所本庁舎に設置する予定はないか。

問 現段階で設置の予定はない。ゼロカーボンシティを宣言したことから、今後設置するか研究していきたい。

カーボンニュートラル推進に係る市の取組は



竹内滋泰 (自民党市議団)

新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後

問 国・県・市合わせて財政出動した総額は。

答 3月定例会までの予算総額は約134億1800万円、執行率は令和2年12月補正までの予算べースで約95%となっている。

問 コロナ禍の収束には時間がかかる。様々な支援が必要となるが、どのように財源を確保するのか。

答 新型コロナウイルス感染症対策基金が不足の際は、モーターボート競走事業会計の利益剰余金等を財源に積み立てていきたい。

問 ワクチン接種に関する緊急市民アンケートの結果をどのように接種計画に反映させるのか。

答 3024件回答があり、「すぐに接種したい」、「様子を見てから接種したい」との回答が約90%に上った。医師会や市民病院との連携を密にし、体制づくりの確保に努めていく。

